



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 菱電商事株式会社  
 コード番号 8084 URL <https://www.ryoden.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 正垣 信雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 宇野 悟  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5396-6111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	56,740	1.6	985	41.3	1,105	40.5	713	32.4
2019年3月期第1四半期	57,664	6.4	697	7.7	786	1.1	539	1.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 805百万円 (588.1%) 2019年3月期第1四半期 117百万円 ( 82.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	32.90	32.74
2019年3月期第1四半期	24.86	24.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	128,989	65,963	51.0	3,031.92
2019年3月期	132,729	65,716	49.4	3,022.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 65,792百万円 2019年3月期 65,594百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		28.00		28.00	56.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		28.00		28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	114,600	2.8	2,200	7.0	2,200	6.0	1,500	6.9	69.12
通期	233,600	2.8	5,300	5.8	5,300	6.2	3,700	0.9	170.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	22,824,977 株	2019年3月期	22,824,977 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,124,857 株	2019年3月期	1,124,755 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	21,700,171 株	2019年3月期1Q	21,693,684 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国は底堅い成長を見せていますが、米中貿易摩擦による中国経済の減速は顕著であり、米国自体もこの影響を受け世界経済に打撃を与える恐れがあるものと見られています。加えて中東の地政学リスクなどにより、先行き不透明な状況を強めています。

国内経済においては、好調な企業収益を背景に、設備投資の増加や雇用の改善により、緩やかな回復が続いていましたが、米中貿易摩擦の影響は輸出を中心に始まり、国内景気減速が懸念される状況にあります。

当社グループの取引に関する業界は、建設関連での設備需要は好調でしたが、半導体製造装置や工作機械などのF A関連が低調に推移し、また、自動車関連ではA D A S（先進運転支援システム）関連が堅調でしたが、自動車関連全体では軟調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、事業環境の変化に適応した顧客価値創造型ビジネスモデルの実践を加速させ、収益性の向上を図るビジョンのもと、既存の中核事業の高付加価値化、成長事業のビジネスモデル確立及び次世代新規ビジネスの創出を目指し、今期の事業活動をスタートさせています。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高567億40百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益9億85百万円(前年同期比41.3%増)、経常利益11億5百万円(前年同期比40.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億13百万円(前年同期比32.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### ① F Aシステム

【当第1四半期連結売上高101億54百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益2億22百万円(前年同期比40.4%減)】

国内建設関連の受配電設備向けは好調でしたが、米中貿易摩擦、スマホ・半導体不況の影響を受け、半導体・液晶関連製造装置、実装機及び工作機械向けが低調に推移し、減収となりました。

また営業利益は、売上総利益の減少により大幅な減益となりました。

#### ② 冷熱システム

【当第1四半期連結売上高82億44百万円(前年同期比37.9%増)、営業利益2億77百万円(前年同期比456.1%増)】

大都市圏をはじめとした再開案件の進展により設備業者向けが好調を継続、冷蔵・冷凍の低温分野並びに機器卸店向けも好調に推移し大幅な増収となりました。

また営業利益は、売上総利益の増加により大幅な増益となりました。

#### ③ I C T施設システム

【当第1四半期連結売上高23億71百万円(前年同期比63.3%増)、

営業利益76百万円(前年同四半期は営業損失79百万円)】

情報通信分野及びメディカル分野のI C Tネットワーク関連機器が好調に推移しました。ビルシステム分野の大都市圏を中心とした好況な建設市場によりビル設備関連機器も好調に推移し、さらにスマートアグリ分野での大型植物工場案件の計上により大幅な増収となりました。

また営業利益は、情報通信分野並びにスマートアグリ分野が貢献し、大幅な増益となりました。

#### ④ エレクトロニクス

【当第1四半期連結売上高359億70百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益4億42百万円(前年同期比14.0%増)】

国内では、自動車関連の国内向け生産は横ばいで欧米向け生産が軟調、A D A S（先進運転支援システム）関連は堅調に推移いたしました。また、白物家電のエアコンなど空調機器関連は好調でしたが、産業機器関連は、主に中国向け工作機械、半導体製造装置などのF A関連が低調となり、減収となりました。

海外子会社では、中国地域においてエアコン関連向け販売が好調に推移しましたが、産業機器関連向け販売が低調となり減収となりました。

また営業利益は、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減により大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、商品及び製品が5億15百万円増加しましたが、現金及び預金が10億3百万円、受取手形及び売掛金が37億54百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比37億39百万円減少し、1,289億89百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が22億65百万円、未払法人税等が5億91百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比39億86百万円減少し、630億26百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益を8億5百万円、配当金を6億7百万円計上したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比2億47百万円増加し、659億63百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比1.6ポイント増加し、51.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当社グループは、経営成績の向上と財政状態の安定を図り、資金需要に応じた一定の手許流動性を維持することを目的に、健全かつ効率的な財務活動を行っております。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比5億3百万円減少し、166億4百万円の残高となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、10億89百万円（前年同期比11億82百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11億11百万円の計上と、売上債権・仕入債務の減少並びにたな卸資産の増加によるネット資金の増加9億60百万円、法人税等の支払9億6百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、4億93百万円（前年同期比3億61百万円支出増）となりました。これは主に、非連結子会社株式の取得による支出2億41百万円を含む投資有価証券の売買によるネット支出4億24百万円、無形固定資産の取得による支出45百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、11億64百万円（前年同期比9億86百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払6億9百万円、短期借入金の減少5億54百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました数値から変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,117	16,114
受取手形及び売掛金	57,688	53,933
電子記録債権	16,013	16,139
有価証券	44	595
商品及び製品	23,784	24,300
その他	3,140	2,698
貸倒引当金	△35	△27
流動資産合計	117,753	113,755
固定資産		
有形固定資産	4,580	4,555
無形固定資産	673	650
投資その他の資産		
その他	10,150	10,461
貸倒引当金	△427	△432
投資その他の資産合計	9,722	10,028
固定資産合計	14,976	15,234
資産合計	132,729	128,989
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,031	41,765
電子記録債務	10,842	11,086
短期借入金	1,358	814
未払法人税等	1,035	444
その他	3,948	3,219
流動負債合計	61,216	57,330
固定負債		
退職給付に係る負債	4,667	4,581
その他	1,129	1,114
固定負債合計	5,797	5,696
負債合計	67,013	63,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,405	7,405
利益剰余金	47,900	48,006
自己株式	△846	△846
株主資本合計	64,793	64,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,650	1,614
為替換算調整勘定	405	470
退職給付に係る調整累計額	△1,254	△1,192
その他の包括利益累計額合計	800	892
新株予約権	121	170
純資産合計	65,716	65,963
負債純資産合計	132,729	128,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	57,664	56,740
売上原価	51,963	50,756
売上総利益	5,701	5,984
販売費及び一般管理費	5,003	4,998
営業利益	697	985
営業外収益		
受取利息	12	17
受取配当金	61	63
持分法による投資利益	32	42
投資有価証券評価益	42	—
その他	60	40
営業外収益合計	209	163
営業外費用		
支払利息	7	9
売上割引	14	13
為替差損	48	14
その他	50	6
営業外費用合計	120	43
経常利益	786	1,105
特別利益		
投資有価証券売却益	8	6
特別利益合計	8	6
税金等調整前四半期純利益	795	1,111
法人税等	255	397
四半期純利益	539	713
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	539	713

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	539	713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	△35
為替換算調整勘定	△346	65
退職給付に係る調整額	56	61
その他の包括利益合計	△422	91
四半期包括利益	117	805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117	805
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	795	1,111
減価償却費	115	106
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	△8
受取利息及び受取配当金	△74	△80
支払利息	7	9
持分法による投資損益 (△は益)	△32	△42
売上債権の増減額 (△は増加)	3,512	3,477
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,117	△478
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,274	△2,038
その他	1,157	△174
小計	1,056	1,882
利息及び配当金の受取額	78	121
利息の支払額	△6	△8
法人税等の支払額	△1,222	△906
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93	1,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	101	—
有形固定資産の取得による支出	△31	△12
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△35	△45
投資有価証券の取得による支出	△185	△442
投資有価証券の売却による収入	12	18
その他	5	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132	△493
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	360	△554
自己株式の純増減額 (△は増加)	0	△0
配当金の支払額	△538	△609
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178	△1,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	△282	65
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△685	△503
現金及び現金同等物の期首残高	14,112	17,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,426	16,604

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A システム	冷熱 システム	I C T施設 システム	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,005	5,979	1,452	39,226	57,664	—	57,664
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	—	0	△0	—
計	11,005	5,979	1,452	39,226	57,664	△0	57,664
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	373	49	△79	388	732	△34	697

(注) セグメント利益又は損失の調整額△34百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△34百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A システム	冷熱 システム	I C T施設 システム	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,154	8,244	2,371	35,970	56,740	—	56,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,154	8,244	2,371	35,970	56,740	—	56,740
セグメント利益(営業利益)	222	277	76	442	1,019	△33	985

(注) セグメント利益の調整額△33百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△33百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

### 3. 補足情報

ご参考までに、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

#### 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(79.8%) 46,016	(10.0%) 5,789	(6.8%) 3,921	(1.9%) 1,100	(1.5%) 836	(20.2%) 11,648	(100.0%) 57,664

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

#### 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(80.8%) 45,829	(9.6%) 5,454	(6.2%) 3,511	(2.7%) 1,534	(0.7%) 411	(19.2%) 10,911	(100.0%) 56,740

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。